



第78号

あゆみ

NPO 法人ユーアイやちよ

276-0034 八千代市八千代台西 8-16-1

TEL047-482-4109 FAX047-482-4179

E-mail ui-yachiyo@mocha.ocn.ne.jp<http://ui-yachiyo.sakura.ne.jp/>

『平成 30 年度 ユーアイやちよ総会開催される！！』

去る 5 月 26 日（土）午後、八千代市市民会館 3 階第 4 会議室で、特定非営利活動法人「ユーアイやちよ」の平成 30 年度総会が開催されました。運営会員総数 66 名中 27 名の方々の出席と、32 名の委任状の提出があり、無事総会が開催されました。代表である椎名氏から開会の挨拶が行われた後に、議案審議と採決が行われました。

平成 29 年度事業報告書、活動計算書、貸借対照表及び財産目録については、事務局を代表して桃井氏から配布されている資料に基づき、詳細な説明がなされた後に、挙手による採決が行われ承認されました。

また、平成 30 年度事業計画は、中長期計画で掲げた目標を達成するため、次の 3 項目を重点として、ユーアイやちよ全体で、取り組むことが報告されました。

- ① 人材の確保のために多様な方策を講じ、訪問介護・居宅支援の業容維持、拡大に努める
- ② 訪問介護では利用者の意欲向上に向けた自立支援と重度化防止サービスの提供を重視し、居宅支援事業では、利用者さんに合わせたより丁寧な対応に心掛け、良質なサービスを確保する
- ③ 地域支援ボランティア活動として、「小さなお手伝い活動」に取り組む



「助けあい活動や千葉県たすけあい協議会に期待する事」

助けあい活動は、介護保険が始まる前からあり、始まった当初は、「今、そこにいる人をどうにかしてあげなくては！」との思いで集まった人たち・グループで、想いは一つだったが、今はネットでどんな情報もやり取りができ、わざわざ集まる必要性を感じない人が殆ど。

でも、超高齢化の現代には、助け合いはなくてはならない存在！、協議会の団体を無理に増やさなくてもいい！、小さなお手伝い・助けあいは、その地域毎に広がっている。私たち協議会の団体は、その人たちを理解しようとする態度を常に持ち続けたい。また、新しいものや仕組みを作る努力も怠らず、もっと魅力あるものになる努力をしたい。

子育て世代がもう少し年を重ね（50 代位になり生活も安定した頃）、助けあいの良さや必要性に気付いてくれればよい。そして、自分たちは、90 才になっても動ける限り、この活動に参加しよう！きっと私たちが目印になり、助けあいの輪が広がることを信じて！

山崎 タキヨ（千葉県たすけあい協議会会報への投稿から抜粋）

【研修会参加報告】 『～ともに生きる これからの地域社会～』

講 師 山下興一郎淑徳大学准教授 開催日 平成 30 年 7 月 18 日 (水)

人と繋がること、地域との繋がりになり、その中で自分が今できる事をする。他人に繋がることを課すことにより、輪が広がるというサロン・カフェ等が沢山出来ているが、そのような場にも参加できない方をどうするか？「声掛けをする！」、「おせっかい役をする！」
そういう人が増えることで、孤独にならずに元気になる。

拒否を 3 回されたらどうする！『あなたに逢いたくてきました！』と殺し文句を言い、会話を勧める。声掛け合っていける地域づくりが、元気で孤独をなくしていく地域になる。

山下講師のお話を聞いて、普段思ってもいなかったが、明日からでもみんながおせっかい役を出来ると思いしました。 勝田台事務所ケアマネ 小山・大木



とともに生きる

研修会レジュメ 書道家
金澤翔子さん



ユーアイおれんじカフェ 2 周年記念行事に参加して

7 月 7 日 (土) 午後、八千代市勝田台の少林寺勝田台道院で、『公開おれんじカフェ』が開催されました。カフェ開設 2 周年行事として、2 つの講演と楽器演奏・合唱と盛りだくさんの内容で、最初に、「介護者として地域の皆さんへ！～介護体験を通して～」をテーマに、安藤浩氏から介護体験を通じ家族の絆が深まったと言うお話があり、介護は辛いことばかりではなく、新たな発見もあることを教えて頂きました。また、勝田台包括支援センターの武田氏からは、介護と言う問題に出会った時、「問題を介護の当事者だけで抱え込むことなく、近くの包括支援センターに相談して下さい。」という、力強いメッセージを頂きました。

講演の後は、サロンで歌のボランティアをしている出口庸子さんのキーボード演奏に合わせ、会場全体で合唱を楽しみ、更に尺八奏者の毛利笙山さんの演奏も行われました。その流れの中、即興でキーボードと尺八の二重奏が披露されました。出口さんは楽譜も見ることなく、楽々と尺八のキーに合わせる演奏で会場全員が驚き、沢山の拍手が送られました。

オレンジカフェには、「住み慣れた場所で支え合い、より楽しく、より元気で」を合言葉に、3 周年記念を目指し、一步一步進んで頂きたいと思いました。 Y・M

～ヘルパーのリレーメッセージ～ 久保貴子さん

* ヘルパーの従事期間は？ ⇒ 7 年

* 好きな言葉は？ ⇒ 「神のなさることは、すべて時にかなって美しい」

* 仕事にあたって心掛けている事は？ ⇒ 短い時間ですが、その時のご利用者様のお気持ちに寄り添って出来るかぎりのお手伝いをしたいと願っています。

* 利用者さんから教えて頂いたこと、嬉しかったことは？

⇒ 失くしたものは、明るい気持ちで振り返りつつ、今あるものに感謝して前向きに過ごされている姿勢。

お喋りしつつ一緒に過ごす中で、暗かった表情が明るい笑顔になって頂けたこと

* 仕事以外の楽しいことは？ ⇒ ガーデニング《苔玉づくりなど》 読書

今回は、上田 早美さん

♥ ♥ 車椅子でも、後遺症の妻を介助できた！

I. M - 記

家内は、11 年前 71 歳で認知症と診断、不安定な精神状態もあったが、服薬、週 2 回の近所のデイサービスに通い、調理もヘルパーと会話しながら出来、身の周りことは「自分」できていた。3 年前、私は 84 歳の時、血管硬化症が原因で左膝下を切断、数日後、家内が脳梗塞で倒れ同じ病院に入院。娘は長年の勤めを辞め、東京から電車で 2 時間かけ、入院中の両親を支えてくれた。

家内は「夫」の認識はなく、名前も言えなかった。その後、「リハビリ病院」に一緒に転院、一緒にリハビリをした。身体機能は多少戻り、言語・認識・記憶は障害、これ以上の改善は望めないと宣告された。折しもリオのパラリンピックが開催、手がない水泳、義足の足での幅跳び等競技の数々、「限界はない」と選手の言葉が私を大きく力づけて、その事を学べたことは幸いだった。車椅子生活でのリハビリが進み退院、しかし生活は一変した。家族は、“母”に「介助」の全てが必要であり、“車椅子で介助”する「父」を考え、母の施設入所を勧めた。しかし、家内と生活したい「父」の決意に、家族が理解を示し、それが私の大きな支えとなった。最初に私が退院し、家内も 2 ヶ月後に退院した。

車椅子の私は、住宅改修したとは言え、少しの段差、狭い廊下には悩まされたが、工夫と順応で自助出来た。家内は、前に出来たことができない、教えても覚えられない状態、私には新しく、家事が生活の一部に加わり、車椅子での介護が試行錯誤の連続ですが、いつも困難を乗り越えてきた私を、家族は応援してくれ「ふたり」の生活が出来るようになった。ユーアイやちよ皆さんにも、温かくアドバイス頂いている。最近、排便介助時に、家内は「すみません」とひとことがあり、移動時には、私の車椅子を押してくれます。『ありがとう！』 感謝の極みです。 ♥ ♥ ♥

『EPTベトナム介護福祉士候補者研修のモデルになって』 小野澤敦子(語らいパートナーの会)

ベトナム介護福祉士研修生が行う、終了時到達度テストの利用者モデルのお手伝いに行ってきました。(語らいパートナーの会員 6 名参加) テストは挨拶に始まり、汚れた着衣交換の同意、安定座位の確認、自立支援等の習得度を評価するものです。一同明るい笑顔で、バイタリティーに溢れ、真剣そのものでした。研修生は、「看護課程修了者」、「日本語能力試験 N2 以上」等の資格を得た優秀な若者達です。

今回の研修を経て、介護施設での就労及び研修を 3 年間以上経験し、「介護福祉士国家試験」受験資格を取得することになります。将来、母国で介護福祉社会をリーダーを担うであろうベトナムの若者達の成長を、心から応援したいと思いました。

研修後、一筆便箋に、見事な漢字とひらがなが並ぶ礼状の束を頂戴しました。

『口腔ケアアプローチ方法』 講師 大塚博子さん(ラビット歯科: 歯科衛生士)

5 月 26 日に行われた「ユーアイやちよ」の年度総会に引き続き、「在宅高齢者の口腔ケアアプローチ方法」についての講演会が行われました。

口腔観察のポイントから始まり、口腔ケアと全身疾患との係わり、更に糖尿病や心臓病と口腔細菌との関係について、丁寧な内容の講演でした。高齢者の誤嚥性肺炎の原因に、口腔内で生じるプラークがあること、そのため口腔ケアを行った際、プラークの回収をしっかりと行うことが大切であることを教えて頂きました。また、口腔の清掃のために講師からは、「口が開かない場合」に頬の内側からマッサージ等をする方法や、K-point 刺激法の紹介があり、その後、講演会に参加した全員で、口腔ガーゼやスポンジブラシの使用方法について、実技の指導も受けました。

本日の講演内容が、今後、ユーアイやちよのケア活動に生かされ、利用者の健康を支える一助になればと、感じた講演でした。



【行事報告】

- 4/20 八千代市介護サービス事業者協議会総会
 5/12 「語らいパートナーの会」定例勉強会
 5/26 30 年度通常総会 運営会員総数 66 名 出席 59 名 (本人 27 名委任状 32 名
 研修「介護スタッフの在宅高齢者口腔ケアの知識」
 6/10 千葉県たすけあい協議会総会
 6/14 EPA ベトナム介護研修生実技試験モデルボランティア 6 名
 6/15 八千代台、訪問介護・障害者居宅介護 千葉県実地指導
 6/23 全国移動サービスネットワーク総会 研修「地域における福祉と交通の連携」
 6/27 介護保険事業、法人自己評価委員会
 7/7 おれんじカフェ、2 周年記念イベント
 7/11 地域ケア会議 八千代台包括支援センター
 7/18 八千代市地域支援整備事業 H30 年度第 1 回協議体
 18・21 7 月定例会及び 研修「食中毒と感染症予防について」
 7/19 「語らいパートナーの会」定例勉強会
 8/30 八千代台居宅介護支援 実地指導
 9/1 コーディネーター研修会 千葉県たすけあい協議会主催
 9/5 訪問介護事業所 千葉県集団指導
 9/7 勝田台居宅介護支援 実地指導



【今後の予定】

- 9/10 介護予防サロン運営者研修会
 9/19・22 9 月定例会 研修「法令遵守・リスク管理」
 9/20 「語らいパートナーの会」定例勉強会
 10 月 利用者アンケート
 10/20 業種別情報交換会 八千代市介護事業者協議会
 11 月 傾聴ボランティア養成講座 (予定)
 11 月中旬 中堅介護職員向け研修 八千代市介護事業者協議会
 11/21・24 11 月定例会 研修「精神疾患・認知症のある方への対応」



【30 年度賛助会員】

平成 30 年賛助会員として、前号発行後に次の方々から賛助会員として協力して頂きました。
 心より御礼を申し上げます。

八十川トシ子様 石上直之・久美子様 伊東光江様 大澤公代様 塩塚トモ子様 菅原弘子様
 植木昭子様 水野正一様 篠原智子様 清水安子様 降旗富紀子様 廣瀬みわ様 成瀬和江様
 伊東睦子様 山田信子様 宮崎順子様 NPO 虹と風福祉会様 美香苑様 グリーンヒル様
 八千代台ケアセンターそよ風様 勝田台ケアセンターそよ風様 日産サティオ千葉様

今後も皆様のご協力を宜しくお願い致します。ご連絡いただければ何時でもお伺いいたします。
 お振込みによりご協力して頂ける場合には、

☆ 振込先 : 千葉銀行新八千代支店 (普通) 3 2 6 6 3 5 7

☆ 口座名義人 : 特定非営利活動法人 ユーアイやちよ 代表 椎名美代子

